



松藤会グループ広報誌

まほろば

「地域にいきる」を支えます

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

Vol. 59

2019 WINTER



特集 医療法人松藤会について

医療法人松藤会は昭和47年に
51床の病院からスタートしました。

医療法人松藤会は昭和47年に51床の病院からスタートしました。

現在は一般急性期病棟52床、地域包括ケア病棟42床、回復期リハビリテーション病棟50床、医療療養病棟55床のケアミックス病院を基幹施設として、介護老人保健施設（定員100名）、サービス付き高齢者向け住宅、訪問看護ステーション等を運営しています。基幹施設の入江病院は入院機能のほか、二次救急、外来診療、リハビリ、在宅医療、内視鏡検査及び処置、手術、透析などを行っています。入院は年間1800件ほどあり、救急受入件数は年間2500件を超え（うち救急搬送1700件以上）年々増加しています。微力ながら地域医療に貢献できればと考えております。

医療の専門化が進む中、全人的医療を提供する必要があると考え、総合診療科、内科はじめ、脳神経外科、整形外科、消化器科、透析科、糖尿病専門外来等、小規模でありながら総合的な診療体制を整えています。

当院を利用される方の多くは高齢者です。未曾有の高齢化社会で人々は複数の疾患を抱え、地域の要望は多様化するため、医療・介護・福祉が切れ目なく連携することが求められています。救急医療（二次救急）から在宅医療まで切れ目なく提供できることは高齢化社会での医療提供に重要であると考えています。

当法人の特性を生かし「急性期↷回復期↷介護↷在宅医療」と切れ目ないサービスを提供し、地域医療・地域包括ケアを確立するよう取り組んでいきたいと考えています。

平成25年度の医療法改正より進められている「5疾病・5事業および在宅医療」は今後の医療供給システムが重要だと考えています。「5疾病・5事業および在宅医療」に関し、当法人はこれまでも「救急医療」「糖尿病」分野において地域医療に貢献すべく努力してきました。

糖尿病分野では国が推奨する「糖尿病性腎症の重症化予防」に取り組んできており、医師をはじめ管理栄養士や理学療法士とともに地域への重症化予防プログラムの普及や糖尿病予防の啓発活動を行っています。救急医療強化の取り組みは今後も継続してゆきます。それに加え「在宅医療」への取り組みも強化しているところです。

高齢者は入退院を繰り返す傾向があります。それでも安心できる「時々入院、ほぼ在宅」を実現するには、24時間受入体制と充実した訪問診療体制が必要です。2018年4月より総合診療科医師二人による訪問診療を開始しました。今後、訪問診療体制を強化し地域医療の充実に貢献したいと考えています。

地域医療に貢献するためには、まず地域の方々から親しまれる病院であることが重要です。そのためドクターは高度な技術だけでなく、患者さん、職員たちが安心してスムーズなやり取りができる「コミュニケーション力」が大切と考えています。医療において医師どうしの信頼が重要であることは言うまでもありません。各診療科のコミュニケーションが良好で互いに協力的であることも当院の特徴です。ともに患者さんと向き合える仲間が増えることを願っています。

当法人はさまざまに形を変えてきましたが、「安心・満足」な医療・介護を実現するという精神は変わりません。これからも地域医療・介護に貢献できるよう努力してまいります。

平成31年1月1日

医療法人松藤会 理事長 入江隆三郎



介護老人保健施設 ゆめさき

老健の使命を果たすべく、
多職種連携の強みを生かしたい。
すべては利用者さまの
「安心と満足」のために。

老健の機能とゆめさきの特徴
老健の提供するサービスには通所リハビリ・入所・短期入所があります。共通点として、どの利用方法においても理学療法士・作業療法士・言語聴覚士といった国

中核施設としての役割を担うのが「介護老人保健施設（以下、老健）」です。これからの老健は医療機関、介護サービス事業所など地域の様々な分野と相互連携を取り、要介護者に医療・介護・在宅と継ぎ目のないサービスを提供することが求められます。

そして地域包括ケアシステムの中核施設としての役割を担うのが「介護老人保健施設（以下、老健）」です。これからの老健は医療機関、介護サービス事業所など地域の様々な分野と相互連携を取り、要介護者に医療・介護・在宅と継ぎ目のないサービスを提供することが求められます。

これら多くの職種がチームとなり、ともにサービスを構築する『多職種連携』が老健の強みであると考えています。そして、ゆめさきはこの強みを最大限に生かし、質の高いリハビリと介護を提供し、利用者様の在宅復帰と社会参加を支援します。

ゆめさきには医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、介護支援専門員などが配置されており、多くの職種が連携して利用者の在宅復帰、社会参加のためのサービスを提供しています。特にリハビリスタッフや介護福祉士の国家資格を有する介護士が多いことが特徴の1つに挙げられます。リハビリだけでなく、入所中は食事や清潔、移動など日常的なケアが必須となりますので、その点で介護福祉士が多く在籍していることでより安心なサービスが提供できています。

それでは、ゆめさきにはその他にどのような専門職がいるのでしょうか、簡単に紹介します。

介護老人保健施設に求められること
日本の高齢化率は2025年に約30%、2060年には約40%に達すると見込まれています。そこで、国は団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年を目標に、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、地域内でサポートし合う提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。これに伴い医療・介護の業界では在宅復帰・在宅支援への動きが主流となってきました。

高齢者の疾患は複合的で継続的な治療、介護、リハビリが必要となります。入江病院を利用される患者さんの割合は高齢者が多くなっており、その点で4つの病棟それぞれが役割を果たすことで、地域の高齢者を支えていく仕組みが入江病院には備わっています。当院に限らず、病院（病棟）にはそれぞれの機能があります。是非ご参考にしてください。

地域のニーズに応えるため、
急性期から回復期、慢性期まで
切れ目のない医療を提供する
ケアミックス型病院です。



入江病院

ケアミックス病院とは

入江病院は急性期医療から回復期、慢性期医療までを提供することができ、一口に病院と言っても、病院の機能はそれぞれ異なっています。急性期病院と慢性期病院ではそれぞれ担当役割が分かれていますが、患者さんは容体や回復状況に合わせて転院をしなければなりません。しかし、入江病院では急性期病棟から慢性期病棟まで4つの病棟を備えていますので、急性期での治療を脱した後も転院をすることなく、リハビリや療養を行うことができます。

切れ目なく、隙間を埋める医療の提供

入江病院の4つの病棟の役割をご紹介します。

- ① 一般急性期病棟**
急性憎悪を含む発症後間もない患者さん又は病状が不安定な患者さんが対象となります。一般的に看護師の配置基準が最も手厚く、24時間集中的な医療の提供を行っています。
- ② 地域包括ケア病棟**
急性期での治療は終了したもの、直ぐに退院や施設へ移動するには不安のある患者さんが対象と

なります。また在宅・施設療養中から緊急入院した患者さんに対して、復帰に向けた治療やリハビリを行うことを目的とした病棟です。

③ 回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患、大腿骨頸部骨折など対象となる疾患の急性期治療を終えて、症状が安定した患者さんに集中的にリハビリテーションを行う病棟です。地域包括ケア病棟と類似していますが、この病棟は脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などのリハビリが対象となります。

④ 医療療養型病棟

急性期での治療後、引き続き医療提供の必要性が高く、病院での療養が継続的に必要な患者さんが対象となる病棟です。療養病棟においても医師・看護師・リハビリなどがチームで連携を図り、在宅復帰に向けた退院支援を行っています。

外来糖尿病教室のご案内

たんぱく摂取と運動
～フレイルを中心に～

今回のテーマは「たんぱく質」です。一般的に糖尿病の食事療法において、たんぱく質は控える栄養素ですが、高齢者の健康長寿（フレイル予防）を考えると筋力低下を防ぐために積極的に摂取したい栄養素です。リハビリスタッフによる、家庭で出来る運動の紹介もあります。どうぞご参加ください。

日時：平成31年2月2日（土）10:00～11:30
場所：入江病院4階 食堂

どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。



RENEWAL

広報誌まほろばが
リニューアルしました

「まほろば」は6年前、入江病院の職員による公募によって名付けられ、平成25年4月に第1号を創刊。その後、老健ゆめさきからも発刊しました。この言葉は「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味を持つ古語です。

この広報誌まほろばを通して、地域の皆さまの健康にお役に立てるよう様々な情報を発信して参りますので、今後ともどうぞ、まほろばをよろしくお願い致します。（広報担当者）

コラム | Column

難を転じて福となす



難を転じて福に変えてくれるとか、南天は縁起物。戦国時代には、武士の鎧びつ（鎧を入れておくふた付きの箱）に南天をおさめ出陣の折には枝を床にさし、勝利を祈りました。江戸時代にはどこの家にも南天が「火災除け」として、更に「悪魔除け」として玄関前にも植えられるようになりました。冬になると赤い実をつける南天は鳥さんたちの大好物です。でも、鳥さんたちがおいしそうに食べている南天の実ですが、微量ですが毒も含まれているので、安易に口にすることは危険です。

赤い実がきれいだけでなく、咳止めや殺菌効果があつたりと南天は有益な植物です。南天は知らなくても「南天のど飴」は聞いたことがあるのでは？「南天のど飴」の成分は南天の実からできています。赤飯の上に南天の葉を載せるのは葉に含まれる成分の分解により、殺菌・防腐効果を利用しているからです。

又、昔お手洗い（厠）のそばに南天の木が植えられていたのには理由がありました。「南天手水」と称し、お手洗いに水がないとき、南天の葉で手で清めるためだったそうです。もう一つはお年寄りがお手洗いで転んだりするため「南天の木につかまる」（難を転ずる）ことだったそうです。つまり「不浄除け」「生活の知恵」の両方を兼ね備えていました。

施設には入りたくないけど、ひとり暮らしは不安

リリーフあがほは、24時間職員が常駐し、必要な生活支援を受けることができるサービス付き高齢者向け住宅です。いつまでも、住み慣れたこの英賀保、姫路で自分らしく生活して頂けるよう、入居者さんの身体状況、ご要望にあわせてあらゆる側面から柔軟な支援・サービスを行っています。

安心な生活を実現できる背景として医療法人ならではの強みがあります。リリーフあがほは入江病院の向かいに位置しています。急な体調変化や緊急時も病院との連携によりスムーズな対応が可能です。入居者さんを法人全体で支えていける仕組みがリリーフあがほの最大の強みです。

ココロもカラダも健康に
明るい住宅です

そして何よりの魅力は住宅全体の明るい雰囲気です。高齢者施設特有の「施設感」が出ないように、「住まい」を意識しています。もちろ



サービス付き高齢者向け住宅
リリーフあがほ

ちろんプライバシーもしっかりと守られた環境で生活して頂くことができます。

明るいのは環境面だけでなく、スタッフの明るさも自慢です。レクリエーションや行事では入居者さんと一緒に楽しみ、つらい時や相談ごとに対しては一番近くで時間を共にするパートナーとして心に寄り添ってサポートします。

入居者は随時募集しています。ご見学やご相談も承っております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

ご自宅での生活動作を
イメージしたりハビリを

機能訓練を実施するにあたっては、ご自宅での過ごし方を大切に考えております。入院されておられた方にとっては、退院されてからが本当の生活のスタートです。通所リハビリではできない生活動作が、実際にご自宅でできているかを確認し必要な説明やご相談を受けることもそのひとつです。ご利用中に出来ていることを自宅へ繋げて、生活の中に活かして頂きたいと願っています。

選んでください
やりたいこと

リハビリはお一人おひとりに合わせた効果的なプログラムを提供しています。理学療法士などが中心となり、短時間で集中的なリハビリを行います。ご家庭でも可能な全身運動、ご自身の体重を負荷に変えた自重トレーニングから、レッドコードと呼ばれる専門的な訓練器具を使用したプログラムまで、幅広く取り組んでいます。



短時間型
通所リハビリテーション

また、当通所リハビリでは、自己選択・自己決定方式を取り入れています。個別でのリハビリ以外の体操や活動のプログラムを、ご自身で選んで参加して頂くことで、意欲の向上や自信に繋がります。次いで興味や生きがいのひとつになるようなものを見つけて頂くことができます。

専門的なプログラムをもとに、楽しみながら身体機能の回復を実現させ、さらには生きがいの発見にお手伝い出来ればと考えております。

心から笑顔でいれる場所にしたい

利用者さまに合わせたケアを提供します

急性期医療から回復期リハビリ、施設介護、そして在宅医療まで。

「安心と満足」の医療・介護で地域を支えます。



医療法人
松藤会

「地域にいきる」を支えます

表紙のおはなし

写真は、おおよそ30年前の入江院長による診察の様子です。開院当初より、地域が望むなら何でも診るという姿勢を貫いてきました。そして、脳外科や整形外科を充実させ、人工透析も姫路では最初に導入しました。その意思が、現在の法人の目指すべき姿「救急医療から在宅医療・介護まで切れ目ないサービス提供を目指す」という形になっています。

入江病院

〒672-8092 姫路市飾磨区英賀春日町2丁目25番地
TEL.079-239-3121 (代)
併設事業所：短時間型通所リハビリテーション

介護老人保健施設 ゆめさき

〒671-1103 姫路市広畑区西夢前台6丁目56-1
TEL.079-237-8735 (代)
併設事業所：居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション

サービス付き高齢者向け住宅 リリーフあがほ

〒672-8092 姫路市飾磨区春日町2丁目11番地
TEL.079-238-5855

